

PRESS RELEASE

2020. 4. 10

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第54回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,346社にアンケート調査を実施し、1,339社から得た回答（有効回答率99.5%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIの悪化水準は上昇」

【概況】

2020年1~3月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2019年10月～12月「以下同じ」）の▲18.7から▲26.7へとマイナス幅を拡大し、悪化した。

業種別にみると、建設業（前回調査6.6→今回調査4.9）はプラス水準を維持したものの、卸売業（▲20.5→▲39.3）、製造業（▲24.7→▲36.3）、サービス業（▲11.5→▲22.9）などがマイナス幅を拡大し、悪化となった。

これを地区別の業況DIでみると、東部地区、中部地区、西部地区とも悪化となった（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも引き続き、人手不足、仕入価格の高騰などを経営課題として掲げているが、加えて新型コロナウイルス感染拡大による経済情勢の停滞を懸念している。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2018年				2019年				2020年	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6 (見通し)
東部地区	▲12.0	▲18.8	▲5.8	▲0.8	▲17.5	▲16.9	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲40.6
中部地区	▲6.3	▲2.3	▲1.3	8.9	3.8	▲3.4	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲29.2
西部地区	3.9	4.5	1.5	8.6	▲0.8	▲8.5	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲41.4
県内計	▲2.2	▲3.1	▲1.0	6.1	▲4.4	▲9.7	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲38.4

なお、2020年4~6月の業況見通しは、東部、中部、西部とともに、更に一段の悪化の見通しとなっていることから、県全体でも、悪化の予想となっている。

■東部地区

東部では、不動産業がほぼ横ばいながら、小売業が▲41.7、サービス業が▲25.5と引き続き悪化水準が高いうえ、卸売業が▲33.9ポイント(▲35.5⇒▲69.4)と大幅に悪化、更に製造業が▲19.3ポイント(▲13.7⇒▲33.0)、建設業が▲12.2ポイント(8.8⇒▲3.4)とそれぞれ悪化したことから、全業種DIは前回調査時の▲24.0から▲30.4へと、悪化となった。

製造業

業況は、売上、収益の減少などから、悪化となった。

今後の見通し(2020年4~6月期・以下同じ)としては、新型コロナウィルス感染拡大による売上、収益の減少から、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・主要取引先からの受注が大きく減少。米中貿易摩擦、新型コロナウィルスと工作機械関連業界を取り巻く環境は一段と厳しくなると予想。 (機械製造)
- ・大手自動車メーカーによる製造ラインの停止が、今後、大きく影響することは必至。 (自動車部品製造)
- ・トイレットペーパー、ティッシュペーパー不足による生産増加の効果は、大手製造業者に及んだが、中小零細業者にはあまり及んでいない。 (加工紙製造)
- ・観光客向けの土産物が売れないと (食品製造)

卸売業

業況は、消費増税の影響が治まらない中、新型コロナウィルス感染拡大による売上の減少などから、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、新型コロナウィルス感染拡大の影響が続くことから、業況は依然としてマイナス水準が高いと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・最近は古紙の売値が低調推移。コロナウィルスの影響はこれから出てくる。 (古紙卸売)
- ・以前より、消毒用アルコールも取扱っているが、買い占め騒動の影響で、在庫の確保が出来ていない。 (工業薬品卸売)
- ・今年の冬はかつてない暖冬で雪が少なかったことから、スタッドレスタイヤの在庫が増加。 (タイヤ卸売)
- ・桜エビ不漁のみならず、近海の水産資源減少により原材料確保が年々困難になっている。 (水産加工卸売)
- ・人手不足が深刻で、商品配送に支障をきたしている。メーカー側も配送業務に支障を来しているようである。 (建設資材卸売)

小売業

業況は、新型コロナウィルス感染拡大の影響もあって、業況DIの悪化水準は依然として高い。

今後の見通しとしては、引き続き感染拡大の影響による売上の減少などから、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・消費増税、暖冬の影響も大きいが、新型コロナウィルス被害は先が見通せないので、大変心配している。 (寝具小売、婦人服小売)
- ・5月開催のイベントが中止になった。国内外のバイヤーとの貴重な商談の場であったので、影響は大きい。 (模型小売)
- ・低価格品の仕入ルートの大半が中国であり、仕入が非常に困難になっている。 (家具小売)
- ・パート・アルバイトの方も多く、学校休校による従業員シフトに苦慮している。 (ガソリンスタンド)
- ・中東情勢が不安定であり、原油価格上昇が心配である。 (ガソリンスタンド)

サービス業

業況は、新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、依然としてマイナス水準である。

今後の見通しとしては、感染拡大の影響による売上、収益の減少から、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・当旅館は海外メディアを活用し、インバウンド集客に力を入れてきたことから、昨年の台風被害も最小限で食い止めることが出来たが、新型コロナウィルス被害は想定外であり、最小限になることを願うばかり。 (旅館業)
- ・御殿場・小山町周辺では、富士スピードウェイや自衛隊富士学校関連の宿泊客が減少し、パート社員の自宅待機に踏み切らざるを得なくなつた。 (旅館)
- ・小グループ、家族主体であることから、現状被害は少ないものの、旅行自粛が続くと、徐々に影響を受けるかもしれない。 (ペンション)
- ・新型コロナウィルスの影響で、団体客は減少した分、ファミリーキャンプ客や家族のバーべキュー客が増加した。 (アウトドア用品販売)
- ・新型コロナウィルスの影響で特に団体バスによる観光客が激減し、旅館・売店・レストラン・ドライブイン等の施設も多いことから、影響は大きい。 (土産物販売)
- ・送別会等、団体宴会予約は軒並みキャンセルになった。4月以降の予約も低調であり、家族・小グループの取り込みを行う。 (飲食業)

建設業

業況は、消費増税による住宅着工件数の減少などから、マイナス化となり、悪化している。
今後の見通しとしては、新型コロナウィルス感染拡大の影響による材料価格の高騰などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・外国人向けの宿泊施設を建設し、運営管理も行うこととした途端に、今回の新型コロナウィルス感染被害であり、入居が心配である。 (総合建設業)
- ・人手不足は相変わらずで、4月の新入社員が確保出来ていない。現場管理者を育成しないと、受注確保にも影響が出る。 (総合建設業)
- ・地元小中学校のエアコン工事受注が出来たことで、当面の受注は確保出来たが、新型コロナウィルスの影響で、今後企業・家計の利益・所得減少が心配である。 (電気工事業)
- ・建設作業員だけでなく、ダンプ運転手や交通誘導員の確保も困難になっている。 (建設業)

不動産業

業況は、新型コロナウィルス感染拡大の影響は軽微であったことから、ほぼ横ばいとなっている。
今後の見通しとしては、新型コロナウィルス感染拡大が長期化することによる売上、収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウィルスの影響度は他業種に比べ、比較的低いと思うが、建設業者から資材調達の遅れから、工期が延びていると聞いており、今後、徐々に影響は出てくると思われる。 (不動産販売)
- ・昨年の台風により浸水した物件の売却に苦慮している。 (不動産売買・仲介)
- ・終活の一環で、不動産売却を行う高齢者が増えていると感じる。 (不動産売買・仲介)

■中部地区

中部では、建設業(10.9⇒4.3)、不動産業(5.0⇒2.4)がプラス水準を維持したものの、卸売業が▲25.3ポイント(▲10.9⇒▲36.2)、サービス業が▲20.9ポイント(▲2.4⇒▲23.3)、小売業が▲16.9ポイント(▲26.0⇒▲42.9)、製造業が▲11.3ポイント(▲13.7⇒▲25.0)と大幅に悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲7.4から▲21.1へと大幅な悪化となった。

製造業

業況は、人手不足に加え、売上の停滞、減少などから、悪化している。
今後の見通しとしては、人手不足や売上、収益の減少から、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・近時の新型コロナウイルス関連ニュースは、海外ユーザー向け商品の販売減少に繋がる恐れがあり不安。
(プラスチック製造)
- ・新型コロナウイルスの影響で観光地の集客が弱まっており、3月以降の売上減少を懸念している。
(菓子製造)
- ・恒常に人材不足が続いている。新型コロナウイルスに関し今後の動向注視。
(工作機械周辺装置)

卸売業

業況は、収益の減少などから、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇や収益の減少などから、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入商品の大半は中国で生産されており、新型コロナウイルスの影響を懸念している。仕入商品は春節前に納入されるが、来年度以降の仕入体制を今のうちに検討しておきたい。
(葬祭用品の輸入・卸売)
- ・中国のみで釣具生産している為、新型コロナウイルスの影響により工場がストップしてしまう恐れがあり、今後リスク分散も検討していきたい。
(釣具卸)
- ・茶業界全体的に厳しいが、特にこの冬は暖冬ということもあり、お茶の売れ行きが芳しくなく売上は減少している。
(茶卸売)

小売業

業況は、売上、収益の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、人手不足や仕入価格の上昇から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大型店との競合激化で売上高は減少傾向。また、近時の新型コロナウイルスの影響で、一般顧客が外出を控える傾向がより強くなることが見込まれる為、集客は今後も厳しくなると予想している。
(菓子類等小売)
- ・消費増税の影響により、個人客の消費が減少し、売上は前年同月比で減少している。今後も、景気動向が良い方向に進まない限り、売上増加にはならないのではと不安を感じている。
(酒たばこ販売)
- ・5%還元事業の影響でクレジットカード等の支払いが増加し、現金での回収が少なくなった為、資金繰りが心配。
(タイヤ販売)

サービス業

業況は、人手不足、同業者間の競争激化による売上の減少から、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルスの影響で消費者は外出を控えているのか、売上減少は例年以上に悪く感じている。キャッシュレス決済の比率が高まっている。
(飲食店)
- ・新型コロナウイルスの影響により、2月から売上が減少している。相次ぐイベント関係中止や延期は今後の資金繰りへ影響が大きい。
(イベント装飾業)

建設業

業況は、人手不足、仕入れ価格の上昇などから、悪化しているものの、プラス水準を維持している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇、受注数減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルスの影響により、配管や便器等中国で生産されている材料が今後スムーズに確保できない可能性が高く、代替品等で一時的に対応する等、今後対応に追われると思っている。
(給排水工事)
- ・人手不足は慢性化しており、海外研修生の派遣を受けている。有期の派遣のため、技術を取得した頃に期間満了となるので社全体の技術力向上とはならず人材確保は今後も苦労しそう。
(型枠工事)
- ・営業の高齢化により、営業ノウハウの承継と共に人手不足が問題となっている。外国人労働者の雇用も行っているが、営業人材は知識・経験必須のためなかなか見つからない。
(土木建築工事)

不動産業

業況は、商品物件の不足や同業者間の競争の激化から、悪化しているものの、プラス水準を維持している。

今後の見通しとしては、在庫不足による売上、収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・同業者間の競争激化で仕入、在庫が減っており厳しい状況。 (不動産販売)
- ・堅調に推移していたが、こここの所、収益物件の動きが悪い。住宅に関しても景気の悪化に伴って徐々に引き合いが減っている感じがする。 (不動産売買・仲介)
- ・例年、12月までの駆け込みが多く、年明けの1月から3月は売上が停滞する。同業者間の競争がますます激しくなってきてている。 (不動産仲介)

■西部地区

西部では、建設業が8.9ポイント(2.5⇒11.4)と改善したものの、小売業が▲28.2と引き続き悪化水準が高い。サービス業は▲21.8ポイント(2.2⇒▲19.6)とマイナス化、更に製造業が▲9.6ポイント(▲30.2⇒▲39.8)、卸売業が▲7.2ポイント(▲20.3⇒▲27.5)、不動産業が▲3.9ポイント(▲3.8⇒▲7.7)とそれぞれ悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲20.9から▲26.9へと、悪化した。

製造業

業況は、売上の減少などから、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の減少や新型コロナウイルス感染拡大の影響から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・中国の工場で新型コロナウイルスの影響により、部品が製造されていない。 (二輪車)
- ・米中貿易摩擦の影響により、昨年は大幅な減収減益だった。 (自動車)
- ・売上は横ばいだが、材料費高騰で利益率が悪化している。 (自動車用フィルター)

卸売業

業況は、売上の減少などから、悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による売上の減少などから、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声))

- ・学校関係の仕事を受注、すでに新型コロナウイルスの影響は出始めている。 (牛乳・乳製品)
- ・新型コロナウイルスの影響により、商品入荷時期が不確定になっている。 (機械器具)
- ・消費増税や天候不順で、食肉の仕入価格が上昇し、利益が圧迫されている。 (食肉)

小売業

業況は、売上、収益が減少し、業況DIの悪化水準は依然として高い。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルスの影響もあり、マスク・アルコール消毒液が売れている。 (医薬品)
- ・消費増税、新型コロナウイルスの影響から来店客数の減少が続いている。 (婦人服)
- ・新型コロナウイルスの影響によりイベント中止が相次いでいる。 (呉服販売)
- ・暖冬のため灯油の売上は減少している。 (ガソリンスタンド)

サービス業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が直撃し、売上、収益などが減少したことから、マイナス化となり、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況は悪化を見込んでいる

(事業者の声)

- ・インバウンド（主に中国）が減っているため、来店客数に大きく影響している。 (飲食)
- ・中国人観光客の増加を見込んでいたが、大量のキャンセルが発生した。 (宿泊)
- ・暖冬ではあるが、冬場は利用客が減るため、売上は減少している。 (レジヤー)

建設業

業況は、施工高が増加したことから、引き続きプラス水準を維持している。

今後の見通しとしては、売上の減少などにより、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・土木、建設工事ともに好調に推移している。 (土木建設)
- ・公共、民間ともに受注量は堅調に推移している。 (総合建設)
- ・現場での職人や下請け確保に苦労しており、単価上昇が問題である。 (一般住宅建築工事)

不動産業

業況は、売上の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・毎期安定した不動産賃貸収入を得ている。 (不動産賃貸)
- ・商品物件の確保に向け、情報力の強化に努めている。 (不動産仲介・売買)
- ・仲介する不動産物件は価格が10百万以下のものが多く、収益確保がしづらい。 (不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2020年1~3月期)						前回調査(2019年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.4%	11.0%	42.5%	34.4%	9.7%	▲ 30.6	2.5%	13.9%	43.2%	31.5%	8.9%	▲ 24.0
中部地区	2.7%	13.4%	46.6%	31.2%	6.0%	▲ 21.1	3.0%	18.5%	49.5%	23.6%	5.4%	▲ 7.4
西部地区	2.0%	11.3%	46.6%	30.7%	9.4%	▲ 26.9	2.7%	11.4%	51.0%	28.7%	6.2%	▲ 20.9
県内合計	2.3%	11.7%	45.4%	31.9%	8.7%	▲ 26.7	2.7%	13.7%	48.5%	28.3%	6.8%	▲ 18.7

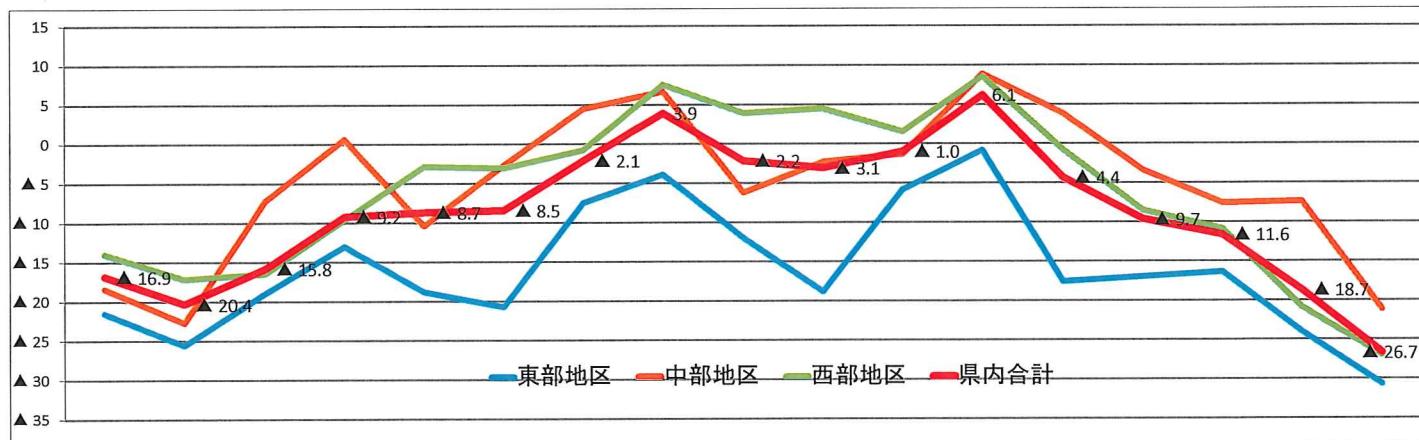
2. 業況予想(全業種)

	2020年4月~6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.1%	9.4%	38.4%	37.9%	13.2%	▲ 40.6
中部地区	3.0%	9.7%	45.3%	32.2%	9.7%	▲ 29.2
西部地区	0.8%	8.4%	40.3%	39.8%	10.7%	▲ 41.4
県内合計	1.3%	9.0%	40.9%	37.6%	11.2%	▲ 38.4

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2016年 1~3月期	2016年 4~6月期	2016年 7~9月期	2016年 10~12月期	2017年 1~3月期	2017年 4~6月期	2017年 7~9月期	2017年 10~12月期	2018年 1~3月期	2018年 4~6月期	2018年 7~9月期	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	2019年 4~6月期	2019年 7~9月期	2019年 10~12月期	2020年 1~3月期
東部地区	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6
中部地区	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1
西部地区	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9
県内合計	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2020年1~3月期)						前回調査(2019年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.7%	12.8%	33.9%	40.4%	9.2%	▲ 33.0	2.0%	19.6%	43.1%	28.4%	6.9%	▲ 13.7
卸売業	0.0%	2.8%	25.0%	61.1%	11.1%	▲ 69.4	0.0%	19.4%	25.8%	41.9%	12.9%	▲ 35.5
小売業	0.0%	8.3%	41.7%	32.1%	17.9%	▲ 41.7	1.2%	5.8%	31.4%	47.7%	14.0%	▲ 54.7
サービス業	0.0%	13.7%	47.1%	27.5%	11.8%	▲ 25.5	3.8%	5.8%	50.0%	32.7%	7.7%	▲ 30.8
建設業	6.9%	12.1%	58.6%	22.4%	0.0%	▲ 3.4	5.3%	17.5%	63.2%	8.8%	5.3%	8.8
不動産業	2.9%	14.7%	55.9%	23.5%	2.9%	▲ 8.8	3.2%	19.4%	45.2%	25.8%	6.5%	▲ 9.7
全業種	2.4%	11.0%	42.5%	34.4%	9.7%	▲ 30.6	2.5%	13.9%	43.2%	31.5%	8.9%	▲ 24.0

2. 中部地区

	今回調査(2020年1~3月期)						前回調査(2019年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.2%	11.1%	44.4%	34.7%	5.6%	▲ 25.0	4.1%	16.4%	45.2%	27.4%	6.8%	▲ 13.7
卸売業	0.0%	4.3%	55.3%	31.9%	8.5%	▲ 36.2	4.3%	19.6%	41.3%	30.4%	4.3%	▲ 10.9
小売業	0.0%	10.2%	36.7%	40.8%	12.2%	▲ 42.9	0.0%	14.0%	46.0%	28.0%	12.0%	▲ 26.0
サービス業	0.0%	18.6%	39.5%	34.9%	7.0%	▲ 23.3	4.8%	16.7%	54.8%	16.7%	7.1%	▲ 2.4
建設業	6.5%	23.9%	43.5%	23.9%	2.2%	4.3	0.0%	30.4%	50.0%	19.6%	0.0%	10.9
不動産業	4.9%	14.6%	63.4%	17.1%	0.0%	2.4	5.0%	15.0%	65.0%	15.0%	0.0%	5.0
全業種	2.7%	13.4%	46.6%	31.2%	6.0%	▲ 21.1	3.0%	18.5%	49.5%	23.6%	5.4%	▲ 7.4

3. 西部地区

	今回調査(2020年1~3月期)						前回調査(2019年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	8.8%	40.7%	37.1%	12.5%	▲ 39.8	2.6%	8.4%	47.7%	33.7%	7.6%	▲ 30.2
卸売業	2.5%	10.0%	47.5%	28.8%	11.3%	▲ 27.5	2.5%	17.7%	39.2%	32.9%	7.6%	▲ 20.3
小売業	0.0%	8.5%	54.9%	23.9%	12.7%	▲ 28.2	0.0%	10.8%	48.6%	32.4%	8.1%	▲ 29.7
サービス業	4.3%	15.2%	41.3%	34.8%	4.3%	▲ 19.6	4.4%	17.8%	57.8%	15.6%	4.4%	2.2
建設業	6.3%	21.5%	55.7%	16.5%	0.0%	11.4	2.5%	17.5%	62.5%	16.3%	1.3%	2.5
不動産業	1.9%	13.5%	61.5%	21.2%	1.9%	▲ 7.7	5.7%	7.5%	69.8%	15.1%	1.9%	▲ 3.8
全業種	2.0%	11.3%	46.6%	30.7%	9.4%	▲ 26.9	2.7%	11.4%	51.0%	28.7%	6.2%	▲ 20.9

4. 県内合計

	今回調査(2020年1~3月期)						前回調査(2019年10~12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	10.0%	39.8%	37.5%	10.8%	▲ 36.3	2.7%	11.8%	46.4%	31.8%	7.3%	▲ 24.7
卸売業	1.2%	6.7%	44.8%	36.8%	10.4%	▲ 39.3	2.6%	18.6%	37.2%	34.0%	7.7%	▲ 20.5
小売業	0.0%	8.8%	45.1%	31.4%	14.7%	▲ 37.3	0.5%	9.5%	41.0%	37.6%	11.4%	▲ 39.0
サービス業	1.4%	15.7%	42.9%	32.1%	7.9%	▲ 22.9	4.3%	12.9%	54.0%	22.3%	6.5%	▲ 11.5
建設業	6.6%	19.1%	53.6%	20.2%	0.5%	4.9	2.7%	20.8%	59.6%	14.8%	2.2%	6.6
不動産業	3.1%	14.2%	60.6%	20.5%	1.6%	▲ 4.7	4.8%	12.9%	62.1%	17.7%	2.4%	▲ 2.4
全業種	2.3%	11.7%	45.4%	31.9%	8.7%	▲ 26.7	2.7%	13.7%	48.5%	28.3%	6.8%	▲ 18.7

資料 3

・業種別予想

1. 東部地区

	2020年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.8%	6.4%	34.9%	40.4%	15.6%	▲ 46.8
卸売業	0.0%	11.1%	33.3%	38.9%	16.7%	▲ 44.4
小売業	0.0%	3.6%	39.3%	36.9%	20.2%	▲ 53.6
サービス業	2.0%	11.8%	27.5%	41.2%	17.6%	▲ 45.1
建設業	0.0%	15.5%	50.0%	34.5%	0.0%	▲ 19.0
不動産業	0.0%	17.6%	50.0%	32.4%	0.0%	▲ 14.7
全業種	1.1%	9.4%	38.4%	37.9%	13.2%	▲ 40.6

2. 中部地区

	2020年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.9%	13.9%	36.1%	29.2%	13.9%	▲ 22.2
卸売業	0.0%	2.1%	42.6%	40.4%	14.9%	▲ 53.2
小売業	0.0%	6.1%	42.9%	38.8%	12.2%	▲ 44.9
サービス業	2.3%	11.6%	46.5%	30.2%	9.3%	▲ 25.6
建設業	4.3%	13.0%	47.8%	32.6%	2.2%	▲ 17.4
不動産業	2.4%	9.8%	63.4%	22.0%	2.4%	▲ 12.2
全業種	3.0%	9.7%	45.3%	32.2%	9.7%	▲ 29.2

3. 西部地区

	2020年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	7.1%	35.5%	42.9%	13.6%	▲ 48.5
卸売業	0.0%	6.3%	35.0%	50.0%	8.8%	▲ 52.5
小売業	0.0%	11.3%	38.0%	35.2%	15.5%	▲ 39.4
サービス業	0.0%	6.5%	52.2%	32.6%	8.7%	▲ 34.8
建設業	2.5%	12.7%	50.6%	32.9%	1.3%	▲ 19.0
不動産業	0.0%	11.8%	56.9%	27.5%	3.9%	▲ 19.6
全業種	0.8%	8.4%	40.3%	39.8%	10.7%	▲ 41.4

4. 県内合計

	2020年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.1%	7.9%	35.5%	40.5%	14.1%	▲ 44.5
卸売業	0.0%	6.1%	36.8%	44.8%	12.3%	▲ 50.9
小売業	0.0%	6.9%	39.7%	36.8%	16.7%	▲ 46.6
サービス業	1.4%	10.0%	41.4%	35.0%	12.1%	▲ 35.7
建設業	2.2%	13.7%	49.7%	33.3%	1.1%	▲ 18.6
不動産業	0.8%	12.7%	57.1%	27.0%	2.4%	▲ 15.9
全業種	1.3%	9.0%	40.9%	37.6%	11.2%	▲ 38.4